

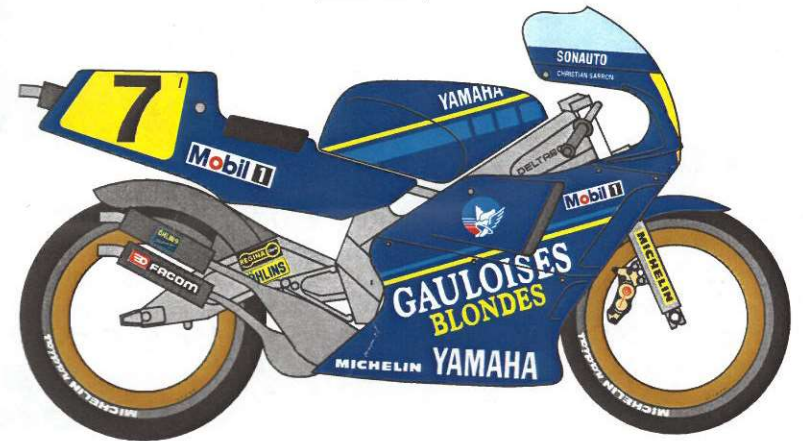
34 (optional)



◊ K'S WORKSHOP ◊

1988 YZR500 #7 Trans kit

(Scale 1/12)



Instruction Manual

◊ K'S WORKSHOP ◊

KWK-88YZRG

Instruction Manual for "1988 YZR500 #7 Trans Kit"

キット組み立て上の注意点 (必ずお読み下さい)

- ・このキットはレジンパーツを使用するガレージキットで、中・上級者向けの模型です。
- ・このキットを製作するには別途TAMIYA製キット「Red Bull YAMAHA WCM YZR500 '99」が必要となります。
- ・各パーツには離型剤が付着しておりますので、洗剤等で洗浄してから工作して下さい。
- ・レジンパーツの工作法は一般的なガレージキットの製作方法に準じます。ご不明な場合は専門書等をご参照下さい。

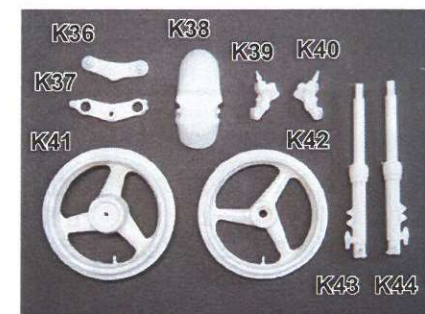
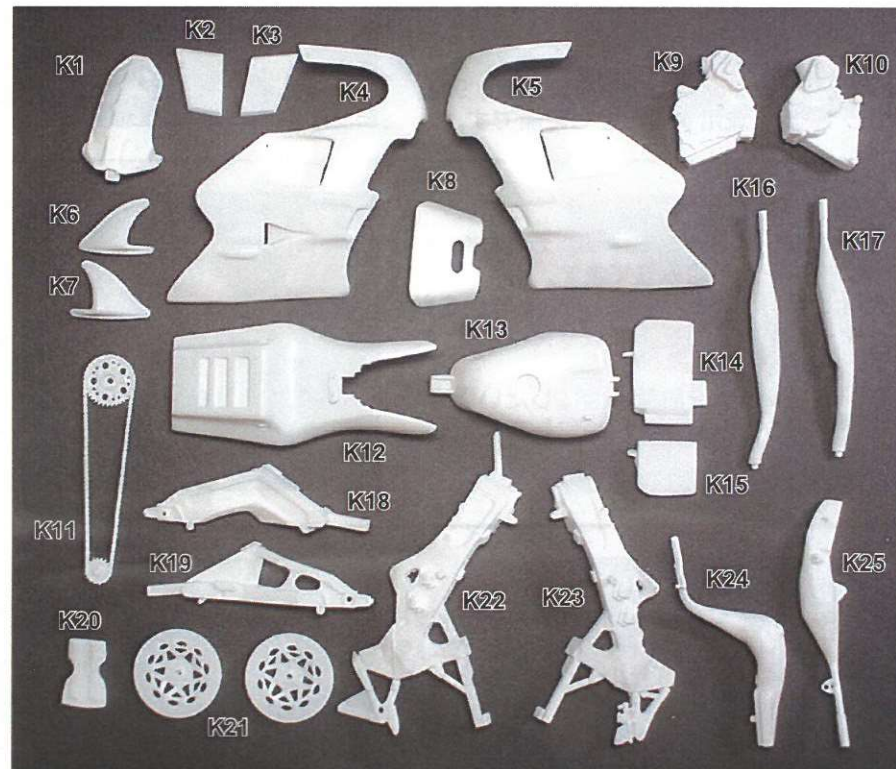
キット内容

・レジンパーツ	46 個
・バキュームパーツ	1 個
・デカール	1 セット
・取扱説明書	1 冊

K1 リヤフェンダー	K30 ブレーキペダル
K2 カウルパーツ (左)	K31 Rブレーキタンク
K3 カウルパーツ (右)	K32 フットペグ x 2
K4 カウル (右)	K33 タンクキャップ
K5 カウル (左)	K34 CDI
K6 ナックルガード (左)	K35 メーター
K7 ナックルガード (右)	K36 トップブリッジ
K8 シートラバー	K37 ブラケット
K9 エンジン (右)	K38 フロントフェンダー
K10 エンジン (左)	K39 Fブレーキキャリパー (右)
K11 チェーン&スプロケット	K40 Fブレーキキャリパー (左)
K12 シートカウル	K41 Rホイール
K13 タンク	K42 Fホイール
K14 ラジエター	K43 フロントフォーク (右)
K15 ラジエター	K44 フロントフォーク (左)
K16 チャンバー	
K17 チャンバー	
K18 スイングアーム (右)	
K19 スイングアーム (左)	
K20 カウルパーツ	
K21 Fブレーキディスク x 2	
K22 フレーム (左)	
K23 フレーム (右)	
K24 チャンバー	
K25 チャンバー	
K26 Rブレーキ	
K27 リヤサスペンション	
K28 フレームパーツA	
K29 フレームパーツB	

◉ K'S WORKSHOP ◉

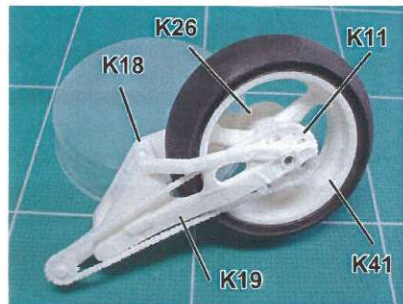
< Parts >



～1～

スイングアームパーツK18・K19を接着し、K11、K26、K36をT社キット付属のネジで固定します。K26は裏側を摺り合わせしながら0.8～1.2mm削り、薄くして取り付けます。スプロケ&チェーン(K11)は一カ所切断してスイングアームに通してください。

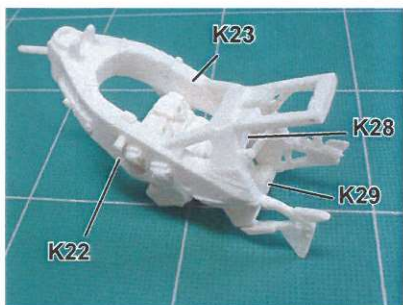
* K26はT社製「Telkor YAMAHA TZ250M '93」のA4、B2パーツを流用することも可能です。



～2～

K9・K10を接着しエンジンを作り、それに合わせてメインフレームを組み立てます。K28とK29は「↑」マークの向いている方向を前向きに、マークがある面を下に取り付けます。

* エンジンとフレームを脱着可能にしたい場合は凸凹の突起部を削り、ピン留めにしてください。



～3～

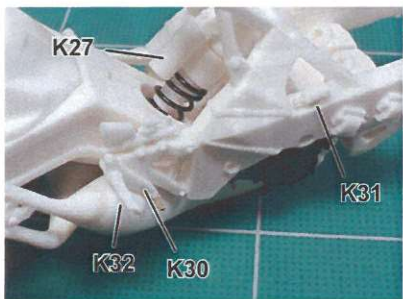
チャンバー部分はサイレンサー部分のみT社キットを使います。K16、K17はT社のA32パーツと組み合わせ、K24、K25はT社のA31パーツと組み合わせます。パイプ先端の折り返しは削り落とします。



～4～

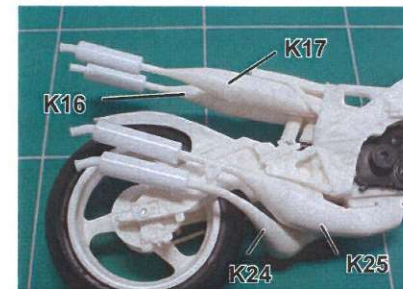
スイングアームとRサスK27を真鍮線などで固定してから、メインフレームと合体させます。スプリングは適度な長さに切ってください。

また右ステップK30・K32やリザーブタンクK31も取り付けます。



～5～

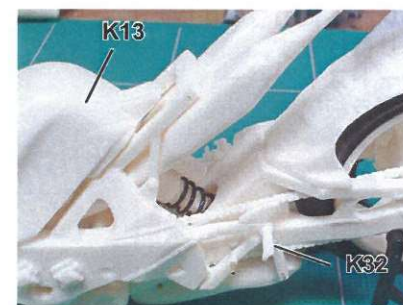
各4本のチャンバーは右の写真のように取り付けます。88年仕様の車体はシートカウルからのサイレンサーの突き出し長さがチーム/ラウンドによって違います。サイレンサーの取り付け位置は資料を参考に調節してください。



～6～

左側にもステップK32を取り付けます。

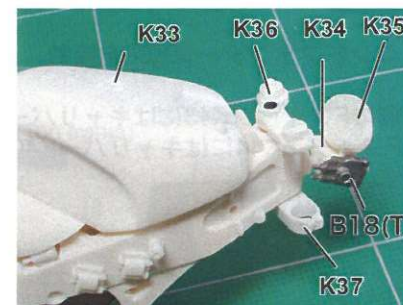
タンクK13をフレームに載せます。



～7～

K34にK35とB18 (T社パーツ) を取り付け、真ん中に穴を開けメインフレームに固定します。

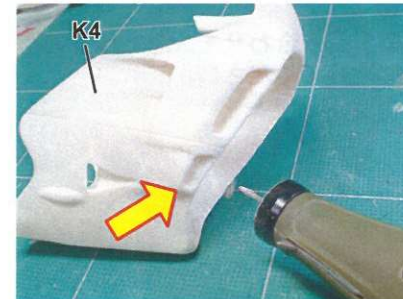
タンクキャップK33は厚めに出来ているので、削りながら高さを調節して取り付けてください。



～8～

メインカウルパーツK4・K5を合わせます。右写真矢印の穴はレジ成型の都合上埋まっていますので、リユーター等で掘り直してください。

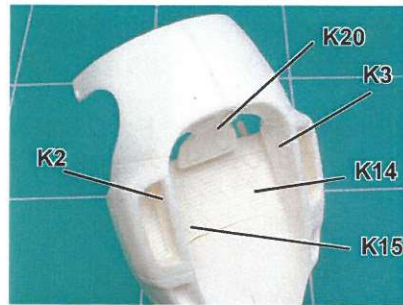
* カウルパーツは厚めにできていますので、エッジ部を薄く削り込む事をお勧めします。



～ 9 ～

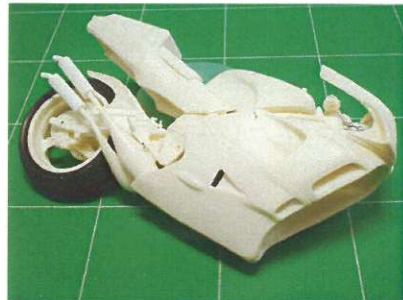
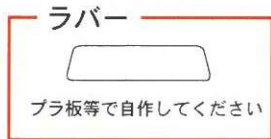
カウル内側にK2、K3、K20を接着します。

ラジエターK14とK15も組み込みます。
*ラジエターパーツは若干幅広に出来ていますのでカウルやラジエター両端を削りながら摺り合わせしてください。



～ 10 ～

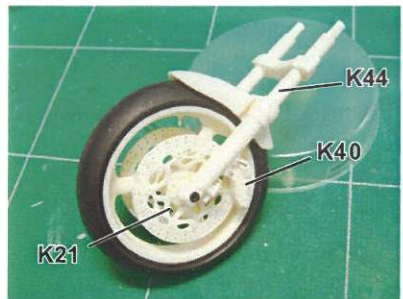
フレームにカウルを固定し、シートカウルK12も取り付けます。
シートストッパーは下図のような形状のパーツをプラ板等で自作してください。厚みはライダーによって異なります。



～ 11 ～

フロントフェンダーはK38を接着。

右側のFフォークK43にはキャリパーK39、左側のFフォークK44にはキャリパーK40を取り付けます。



～ 12 ～

仮組&摺り合わせを入念に行ってから、塗装工程に入ってください。



＜デカール貼付指示書＞

88 GAULOISES YAMAHA YZR500 #7

